



# 消化器内科 3本の矢

消化器内科で扱う疾患は多岐にわたるため一人が全領域を専門的にカバーすることは困難です。当科では消化管疾患、肝臓疾患、胆道・膵臓疾患のそれぞれの領域に診療の核となる医師がおり、質の高い医療を提供しています。

消化器内科紹介

## 大橋 暁

(卒業年次：1995)

- 日本消化器病学会指導医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定指導医
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 臨床研修指導医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本医師会認定産業医



### 対象疾患

胃癌、大腸癌、胃潰瘍、大腸ポリープなど

# 消化管

当院の内視鏡室は、独立した三部屋を有し、患者様のプライバシーを守りながら上部・下部内視鏡検査をスムーズに施行出来る体制を整えています。近年経鼻内視鏡の需要が増え、2020年に追加で一本購入しました。大腸内視鏡では、CO<sub>2</sub>送気装置を導入しより苦痛の少ない検査を目指しています。

早期胃癌に対する内視鏡治療(ESD)はガイドライン適応病変であればほぼ全例に、適応拡大病変についても十分検討の上積極的にこなっています。その他、粘膜下腫瘍に対するEUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺吸引)や、進行癌に対するステント留置など、消化器内科に必要な処置は概ね施行可能です。

しかしながら現在の内視鏡室は築30年以上経過し待合やリカバリー室が十分確保できないため、特に鎮静を行なう検査の増加が難しく、今後の課題と考えています。



3部屋ある内視鏡室



内視鏡室

# 岩田 浩史

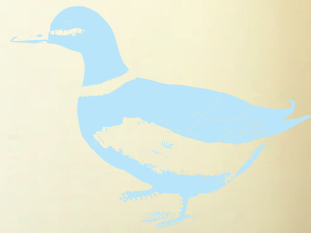
## 肝臓

### 対象疾患

肝硬変、肝がん、  
脂肪肝、急性肝炎、  
慢性肝炎など

(卒業年次：1998)

臨床研修指導医



肝臓の病気に関しては、自覚症状が現れにくく、病状が進行しても見過ごされ、進行し見つかっても治療によって治りにくいケースが多いという特徴があります。このため、肝機能検査を定期的に行い、早期発見に努め、より早期に治療につなげることが重要となります。

当院は、愛知県の肝疾患専門医療機関に指定されており、肝臓に生じた病気に関し、幅広く診療を行っております。特に、がん診療においては、早期診断から治療まできめ細やかな診療を提供し、これまで肝炎治療（抗ウイルス薬など）や肝がん治療（肝動脈塞栓術や経皮的ラジオ波焼灼術）を長らく行ってきました。丁寧な診療を心がけ、患者様を診させていただきますので、些細な病状であっても、気兼ねなくご紹介ください。また当院は救急指定病院でもあり、肝疾患に関し緊急を要する病状（食道静脈瘤破裂など）への対応可能です。

# 河合 学

(卒業年次：2006)

日本内科学会認定内科医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器内視鏡学会認定専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本膵臓学会認定指導医  
臨床研修指導医

### 対象疾患

胆石症、総胆管結石、  
急性胆管炎・胆嚢炎、  
急性膵炎、胆道癌・  
膵臓癌など

## 胆道・膵臓

胆膵疾患といってもなかなかピンとこないかもしれませんが、急性腹症の原因として急性胆管炎・胆嚢炎、急性膵炎などがありときに致命的となりえます。当院では救急外来での対応含め、緊急ドレーナージを必要に応じて24時間体制で対応しております。総胆管結石は現在ERCPによる処置が第一選択ですが、ほぼ全例に内視鏡的なドレーナージ・採石術が可能です。その他の精密検査としてEUS（超音波内視鏡）による胆膵系疾患の精査も徐々に件数は増加しており、EUS-FNA（超音波内視鏡下穿刺吸引）による病理学的診断からEUSを応用した高度なドレーナージ術まで当院で対応可能です。

膵臓は一般に予後不良な疾患であり、無症状な段階での早期発見が大切です。健診での軽微な異常指摘、糖尿病の悪化などをきっかけとして発見されることもあり、開業医の先生方からの精査依頼が早期診断につながるため、地域の病診連携が大切といわれております。引き続きご紹介のほど宜しくお願い致します。